

SDGS 本・物からのメッセージ

清水町から10kmほど離れた場所にある駿河湾。

清水町の人にとって、深海生物たちは隣人なのです。富士山から川を通じて豊富な栄養が流れ込む駿河湾は日本一深い湾で、多種多様な深海生物が暮らしています。彼らは環境の変化に対応できず、海洋汚染・プラスチックゴミに苦しんでいます。彼らのことをもっと知って好きになってもらいたい。彼らに優しくしてもらいたい。彼らが暮らす環境を良くしてもらいたい。深海に流れ込むゴミはどこから来るのか？皆さまの生活圏からです。「ゴミをゴミ箱に捨てる」そこから始めましょう。深海生物たちが安心して暮らしていけるように…

🧠 SDGs アクアリウム

会期 / 2021.2.19(金) - 3/7(日)

会場 / まほろば館

※展示は図書館の開館時間中

水族館とは違うごみと魚と一緒に暮らす深海のリアルな状況を知ろう。



🧠 エコバックデザインコンテスト

募集期間 / 2021.2.19(金) - 3/8(月)

ecoな本を読んで感じたことをデザインしよう！

参加者(先着50人)にエコバックをプレゼント。優秀者4名に自身がデザインしたオリジナルエコバックを贈呈します。応募方法等は裏面をご覧ください。



🧠 「“すぐそこ(底)にある” 私たちの深海～深海生物と仲良くなろう～」(講演会)

日時 / 2021.3.13(土) 10:00 - 12:00

会場 / まほろば館

講演会後には、駿河湾の深海生物とゴミに触れるふれあいイベントを実施予定です。



講師：石垣 幸二氏
(有限会社ブルーコーナー 代表取締役)

下田市生まれ。2000年 有限会社ブルーコーナーを設立し、世界30か国、210を超える水族館に希少な深海生物を納入する。「情熱大陸」や「ガイアの夜明け」等多くのテレビ番組に出演し、「海の手記55」として紹介される。深海ブームの火付け役となり、深海生物の調査・研究を進め、世界各国の研究者やメディアと奔走し続けている。

▶ 申込方法 (定員30人)

kankyoevent@town.shizuoka-shimizu.lg.jp に参加者氏名を記載しメールしてください



▶ SDGs アクアリウム

水族館とは違ったごみと魚と一緒に暮らす身近な深海のリアルな環境を展示



▶ エコバックデザインコンテスト

ECOに関連する本を読んで、感じたことをデザインして応募。優秀者に自身デザインのオリジナルエコバックを贈呈

▶ 講演会「“すぐそこ(底)にある”私たちの深海～深海生物と仲良くなろう～」

講師は、メディアに“海の手配師”として紹介された、石垣幸二氏(有限会社ブルーコーナー 代表取締役)

環境教育イベント講演会「すぐそこ(底)にある私たちの深海～深海生物と仲良くなろう～」



3月13日(土) 町図書館・保健センター複合施設

有限会社ブルーコーナー代表取締役の石垣幸二さんを講師に迎え、海洋汚染を身近な問題としてとらえる講演会を開催しました。

石垣さんは、「清水町は1時間以内に深海に行ける場所であり、川を通じて生活の場とつながっている。深海生物は身近にいることを知り好きになってほしい。彼らに優しくなってほしい。」と話されました。

参加者は、石垣さんの説明やクイズで深海生物について学びました。